

SONY®

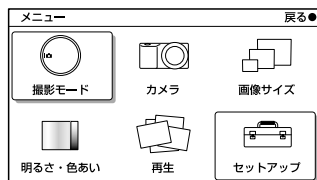
α

NEX-3/NEX-5

ここでは、バージョンアップにより追加される機能の紹介や使いかたについて説明します。
本機の「取扱説明書」およびCD-ROMに収録されている「αハンドブック」もあわせてお読みください。

追加される機能

バージョンアップを行うと、メニュー項目の中に新たな機能が追加されます。



メニュー	新しく追加される機能	内容
撮影モード	ピクチャーエフェクト	好みの効果を選んで、独自の風合いで撮影する。
セットアップ	ピーキングレベル	マニュアルフォーカス撮影時、ピントが合った部分の輪郭を指定した色で強調する。
	ピーキング色	ピーキングの色を設定する。

ピクチャーエフェクト

好みの効果を選んで、独自の風合いで撮影できます。

1 [メニュー] → [撮影モード] → [ピクチャーエフェクト] → 希望のモードを選ぶ。

 トイカメラ	周辺が暗く、独特の色合いをもった仕上がりになる。	
 ポスタリゼーション (カラー)	原色のみで再現されるメリハリのきいた抽象的な仕上がりになる。	
 ポスタリゼーション (白黒)	白黒のみで再現されるメリハリのきいた抽象的な仕上がりになる。	
 ポップカラー	色合いを強調してポップで生き生きとした仕上がりになる。	
 レトロフォト	古びた写真のようにセピア色でコントラストが落ちた仕上がりになる。	
 パートカラー (レッド)	赤色のみをカラーで残し、他の部分はモノクロに仕上がる。	

<p>⑧ パートカラー (グリーン)</p>	<p>緑色のみをカラーで残し、他の部分はモノクロに仕上がる。</p>	
<p>⑧ パートカラー (ブルー)</p>	<p>青色のみをカラーで残し、他の部分はモノクロに仕上がる。</p>	
<p>⑧ パートカラー (イエロー)</p>	<p>黄色のみをカラーで残し、他の部分はモノクロに仕上がる。</p>	
<p>⑨ ハイキー</p>	<p>明るく、透明感や軽さ・優しさ・柔らかさを持ったような仕上がりになる。</p>	
<p>⑨ ハイコントラストモノクロ</p>	<p>明暗を強調することで緊張感のあるモノクロに仕上がる。</p>	

ご注意

- [RAW] [RAW+JPEG]時に[ピクチャーエフェクト]にすると、画質は一時的に[ファイン]になります。
- [パートカラー]のとき、被写体や撮影環境によっては設定した色が残らないことがあります。

ピーキングレベル

マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を指定した色で強調します。ピントを確認しやすくなります。

1 [メニュー] → [セットアップ] → [ピーキングレベル] → 希望の設定を選ぶ。

	高	ピーキングを強めにかける。
	中	ピーキングを適度にかける。
	低	ピーキングを弱めにかける。
✓	切	ピーキングをかけない。

ご注意

- 画像がシャープな部分をピントが合ったと判断するため、被写体・レンズ・撮影状態などにより強調表示効果が異なることがあります。
- HDMI接続時はピーキングが表示されません。

ピーキング色

マニュアルフォーカス撮影のときに、ピントが合った部分の輪郭を強調するピーキングの色を設定します。

1 [メニュー] → [セットアップ] → [ピーキング色] → 希望の設定を選ぶ。

✓	ホワイト	ピーキングの色を白にする。
	レッド	ピーキングの色を赤にする。
	イエロー	ピーキングの色を黄色にする。

ご注意

- [ピーキングレベル]が[切]のときは設定できません。